

入試年度	2026年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026年2月19日
課程	博士前期課程	研究科	経営学研究科	専攻・コース	経営学専攻
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験	試験科目	専門科目（会計学）		

解答又は解答例及び出題意図

【解答例（採点時の観点）】

※特定の解答例のみを正答と誘導する恐れがあるので、模範解答は示さない。

<問1>

- (1) 引当金設定に必要な4要件を踏まえて、その意義や積立金との違い、代表的な科目例などを提示して説明することを問うものである。
- (2) 有価証券の会計処理についての基礎的な理解があり、種類別に分類した上で評価方法の違いやその根拠を示すことができることを問うものである。

<問2>

- (1) 会計の基本計算書について問うもので、十分に理解していることが必須である。
- (2) 既存の会計基準に関するものであるが、その内容のみならず、資産負債両建ての会計処理となる点を説明できることを期待している。

【出題の意図】

大学院での研究の基盤となる会計学の基本知識及び体系的な理解が身についていること、並びに課題や論点を的確に抽出し、分析・検討を行った上で結論にまとめることができる論理的思考力を確認するための、記述式筆記試験である。

合否判定の方法及び基準

入学試験は、経営学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施している。

合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たしているかを総合的な視点により判断している。

入試年度	2026年度	入試時期	Ⅱ期入学試験	実施日	2026年2月19日
課程	博士前期課程	研究科	経営学研究科	専攻・コース	経営学専攻
入試方式	一般入学試験 外国人留学生入学試験	試験科目	専門科目（会計学）		

解答又は解答例及び出題意図

【解答例（採点時の観点）】

特定の解答に誘導することを避けるため、解答例は示さず採点時の観点を以下に示す。

問1

- (3) 参加型予算編成の目的と内容について正確な理解を示し、かつ、経営管理におけるその意義を論理的に詳述できていること。
- (4) 制約理論（Theory of Constraints：TOC）に基づくスループット会計の特徴について正確な理解を示し、かつ、経営管理におけるその意義を論理的に詳述できていること。

問2

- (3) 業績管理会計において用いられる原価概念である全部原価と部分原価について、詳細に説明できていること。
- (4) 意思決定会計において用いられる主要な経済性の指標である正味現在価値（net present value：NPV）について、詳細に説明できていること。

【出題の意図】

学士水準に相当する会計学の基礎知識および研究能力を記述式筆記試験により評価するため、標準的な財務会計および管理会計の主要テーマからバランス良く出題することを意図している。管理会計については、問1（3）で予算管理に関する知識と経営管理における意義を、問1（4）で比較的新しい原価計算および管理会計の概念・手法に関する知識と経営管理における意義を問う問題とした。また、問2（3）で業績管理会計において用いられる原価概念についての基礎知識を、問2（4）で意思決定会計において用いられる主要な経済性の指標についての基礎知識を問う問題とした。問1は2問のうち1問、問2は4問のうち2問を選択して解答する形式としている。

合否判定の方法及び基準

入学試験は、経営学研究科のアドミッション・ポリシーに基づき、これを満たす学生を募集することを目的に実施している。

合否判定については、本研究科のアドミッション・ポリシーを満たしているかを総合的な視点により判断している。